



記念講演



在校生の見送り



修復作業



結城 豊太郎



見学会

山形東高 同窓会 会報 第70号

平成30年4月20日

【発行所】〒990-8525 山形市緑町1-5-87

山形東高同窓会事務局

TEL・FAX (023) 631-7501

【発行人】渡辺 季子

【印刷所】坂部印刷(株) TEL (023) 631-2056

結城豊太郎 蔵相寄贈 奉公旗、80年目の物語

昭和12(1937)年5月、大蔵大臣・結城豊太郎(山中9回・明治29年卒、後に日銀総裁)は故郷に錦を飾り、母校で講演を行った。「『朋あり遠方より来る亦楽しからずや』という言葉があるが、これはお土産を持って来てくれるから楽しいので、私も弟達にこれを持ってきました。」「(『共同会雑誌』第69号・昭和12年度発行、結城蔵相「講演速記」による)と言って、差し出したのは1本の白旗であった。一面には「奉公」、もう一面にはクラーク博士の言葉「Boys! Be Ambitious」が墨書してあった。中国大陆での対立が激化し、「義勇奉公」「滅私奉公」の聲が高まりつつあった、まさに大戦前夜。相反するかに思えるこの二つの言葉に、結城はどんな思いを込めたのだろうか。

結城の話は山中時代へと遡り、経済の道へ導いてくれた1冊の洋書との出会い、立志の大切さを語り、最後は「将来の日本は今よりもっと難しい時期がくるだろう。今は一生懸命に学生としての勉強をすればそれでよい。余計なことを考えてはならない。頭を養い、体を養って賢い明るい頭を以って世間に出ていただきたい。将来の日本をあなた方によって背負っていただきたい。この旗のことを繰り返すが、公のために奉じていただきたい。これが私の母校へのお土産です。」と結んだ。戦雲たれたため下で青春を送る「弟達」を思いやる、結城の言葉は深い。当時中学1年生だった設楽隆さん(山中55回)は、一言一言が生徒達の胸に響き、あの日の講堂は熱気にあふれていた

と懐かしむ。講演を終え国旗掲揚台への揮毫を乞われた結城は、「至誠奉公」としたため母校を辞した。

——賢く明るい頭をもって己の信じる誠を貫き公に尽くす精神と、進取果敢にして自立した開拓精神と。時代を超えて求められるべき不変の若者像をこそ、結城は国難の時代に立ち向かっていく後輩達に託したと言えるのではないだろうか。

終戦の日を境に、奉公旗は声を失いしまい込まれた。寄贈から80年にあたる昨年の夏、劣化の進んだ奉公旗を山形歴史資料として修復する取り組みが始まった。上杉博物館学芸員・佐藤正三郎さん(山東52回)のご紹介で、作業は東北芸術工科大学の文化財保存研究センターにおいて着々と進められ、11月13日(月)見学会が行われた。この日、見せていただくのは「補綴」という作業である。旗にはすでに裏打ちが施され、墨が濃い部分ほど欠損が無数に点在していることが明らかである。その複雑で細かな形のひとつひとつにトレース紙をあててなぞり、墨で染めた絹を同じ形にカッターで切りぬいて、糊を塗り、嵌め込んでいく。まるで極細版のジグソーパズルだ。カッターを握る大山龍頭先生の指先に、全神経が注がれているのがわかる。見学している私達も、思わず肩に力が入る。ようやくぴたりと嵌め込まれると、緊張が解け「ほーっ」とため息が漏れる。すべての欠損が埋め尽くされるまで、何度これが繰り返されることだろう。嵌め込む絹は、墨で染めた後でオーブンで焼いてわざと劣化させた物だそうで、触ってみるとほとんど紙に近く簡単に破れた。新しい絹を嵌め込んでしまうと、劣化したオリジナル部分となじまず、かえって損なうことにもなりかねないのだそうだ。奉公旗が経てきた80年の歳月を、オープンの燃焼時間で再現し、劣化の歩調を合わせたというわけか。単に新しい部品と交換するのとは違って、修復には時間の再現が求められることに驚かされた。

この春、結城の願いとともに奉公旗が墨痕鮮やかに蘇り、母校に戻ってくる。

(事務局 渡辺 季子 記)



ご挨拶

同窓会会長 浜田 敏

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また同窓会にご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

母校は皆様ご承知のとおり女子が飛躍的に増大しております。全学720名中ほぼ半数が女子であり優秀です。日本の社会は女性の進出、活躍が待望されております。山東同窓生がいろんな分野で大いに活躍することを期待したいと思います。

総じて言えば生徒は少数精鋭で文武両道を実践しております。学力はほぼ高水準を維持しています。体育部はメジャーなスポーツはもう一步ですが少数の割には善戦しています。文化部の最近の活躍には目を見張るものがあります。学力については新たに探究科も設置されましたし前進が期待できると思います。

私たちは現在高度に発達したAIやIoTを特徴とする第4次産業革命の真ただ中にいます。今後も進む第4次産業革命は経済構造、社会構造を一気に変えてしまう可能性を秘めています。今ある職業の半数は不要になると言われています。そして経済構造、社会構造を根本から作り変えていくことができるのは若い世代です。生徒諸君も近い将来大いに活躍してくれるでしょう。次代を担う生徒諸君を物心両面で支援する、これが同窓会の大きな役割です。

同窓会は毎年10月同窓会祭りを開催し700名の参加者を得て親睦を図っています。今年は若手会員が参加しやすい土曜日に開催します。10月13日です。皆様もぜひご参加ください。

体育部OB会、文化部OB会も年1回開催し旧交を温めています。またそれぞれ各部に対して相当額の強化援助費を支出しております。

10年ごとに行われる母校創立記念事業も同窓会の大きな事業です。その他同窓会は22ある支部への訪問、教育後援会に対する毎年100万円の寄付、会報や会員名簿の発行などいろいろな活動をしています。公益財団法人山形東高校奨学会は毎年生徒3名にそれぞれ70万円の奨学金を支給いたします。

以上の会員の親睦を図り母校、生徒を支援するための活動は皆様の維持会費、寄付金によっております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

悠久の山形東高の歴史と伝統を未来に繋いでまいりましょう。

結びに、母校の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。



ごあいさつ

校長 佐藤 俊一

昨年4月に校長として着任しました佐藤です。山東28回天馬会の出身です。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、日ごろ母校の学校運営、教育活動にご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。お陰様で、生徒たちは「文武両道」「質実剛健」「自学自習」の校是のもと、日々充実した高校生活を送っております。

昨年度は、同窓会まつりや体育部OB会総会のほか、各支部総会へも可能な限り参加をさせていただきました。どの支部に行きましても、同窓生の皆様の母校に寄せる思いや生徒に対する熱い期待を感じて帰ってきたところです。

さて、昨年は、本県を幹事県として南東北インターハイが開催されました。本校からは、テニス部女子、フェンシング部が参加したほか、多くの職員・生徒たちが大会運営に携わりました。47インターハイの時に、地元高校生が全国からの高校生をもてなそうと始まった高校生活動が45年ぶりに本県に戻り、その推進委員長も本校の生徒が務め、主体的な取り組みで大会を大いに盛り上げてくれました。また、全国高等学校総合文化祭も、お隣の宮城県で開催され、本校からは囲碁、将棋、美術・工芸部門でそれぞれ出場・出品し、将棋団体で5位入賞を果たしています。

昨年度はこのほかにも、卓球部が44年ぶりに団体で東北大会に出場したり、吹奏楽部が創部以来初の東北大会銀賞受賞、演劇部がこれも創部以来初めて東北大会最優秀賞を受賞するなど、団体での活躍が目立ちました。今後ともこの流れを止めることなく、活動を充実させてまいりたいと思います。また部活動に関しては、今年度新たに「探究部」を設けました。他の部との兼部を可とし、対外的な各種コンテストや発表会に出場する生徒を後押ししたいと考えております。

今年度、新学科「探究科」を2クラス設置いたしました。普通科も含めて、これからの時代を生き抜く上で重要な課題発見・課題解決型の学習を推進してまいります。東北大学や東北芸術工科大学等の外部機関のお力もお借りし、生徒には良質な刺激を提供して、一人一人の多様な可能性を高めてまいりたいと考えております。

山東は今年大きな節目の年となりますが、激しい変化の流れに対応しつつも、揺るぎない伝統の基盤を堅持し、知・徳・体の調和のとれた国家・社会の有為なる形成者としての人材育成に、教職員一同努めてまいります。同窓生の皆様には、どうぞ、母校のために変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

平成29年度 予算執行状況

(平成29年4月1日～平成30年1月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,900,000	△455,000	6,445,000	3,772,000	ゆうちょ銀行1,378件、コンビニ891件
入会金	708,000	0	708,000	708,000	3,000円×236人
積立金より	500,000	△500,000	0	0	
繰越金	533,868	0	533,868	533,868	
雑収入	400	1,141,453	1,141,853	1,141,853	利子、ご芳志、名簿発行還元金1,108,500円
合計	8,642,268	186,453	8,828,721	6,155,721	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	90,000	△399	89,601	89,601	資料印刷、案内送付費等
会議費	600,000	0	600,000	370,794	役員会、評議員会
表彰費	550,000	△128,456	421,544	421,544	表彰状、喜寿記念品6,000円×52人等
会報発行費	3,000,000	38,567	3,038,567	2,088,567	16,700部 会報印刷、送付費
通信費	120,000	4,000	124,000	104,705	NTT、切手、葉書
慶弔費	150,000	0	150,000	88,390	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	50,000	0	50,000	50,000	事務局員費
生徒活動 援助費	200,000	△40,000	160,000	160,000	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	0	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	800,000	△132,865	667,135	667,135	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費等
資料整備費	180,000	106,872	286,872	0	奉公旗修復保存経費
事務費	1,400,000	0	1,400,000	1,200,874	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,000,000	0	1,000,000	0	山東教育後援会へ
積立金	100,000	50,000	150,000	0	同窓会基金へ
振込料金	300,000	△25,000	275,000	151,310	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	72,268	313,734	386,002	5,000	
合計	8,642,268	186,453	8,828,721	5,397,920	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

平成30年度 予算(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
維持会費	6,900,000	6,900,000		
入会金	1,205,000	708,000	497,000	5,000円×241人
積立金より	0	500,000	△500,000	
繰越金	380,000	533,868	△153,868	
雑収入	400	400	0	
合計	8,485,400	8,642,268	△156,868	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
総会費	90,000	90,000	0	資料印刷、案内送付費等
会議費	600,000	600,000	0	役員会、評議員会
表彰費	500,000	550,000	△50,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,000,000	3,000,000	0	16,700部 会報印刷、送付費
通信費	120,000	120,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	150,000	△10,000	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	50,000	50,000	0	事務局員費
生徒活動 費	300,000	200,000	100,000	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	740,000	800,000	△60,000	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費
資料整備費	40,000	180,000	△140,000	資料保存費等
事務費	1,370,000	1,400,000	△30,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	1,000,000	100,000	山東教育後援会へ
積立金	50,000	100,000	△50,000	
振込料金	290,000	300,000	△10,000	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	65,400	72,268	△6,868	
合計	8,485,400	8,642,268	△156,868	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—母校 飛躍の年、支援の強化にご協力を—

入会金改定のご協励に感謝申しあげますとともに、財政基盤の安定化をはかり、探究科が新設された母校への支援を強化するため、維持会費の納入に一層のご協力をお願いします。尚、振込みの際は、手数料(事務局が負担)が少ない方法を選んでいただくと幸いです。郵便局の窓口(130円)・ATM(80円) コンビニ(120円)

ゆうちょ銀行の通帳をお持ちの方は、電信振替(手数料 月3回まで無料)のご利用もどうぞ検討下さい。

事業報告

平成29年

4月1日 同窓会報第69号発行
 4月8日 平成29年度入学式(学校)
 4月10日 事務局会議
 事務局構成・業務分担
 5月12日 第1回役員会
 平成28年度事業報告・決算
 平成29年度事業計画・予算
 奉公旗の修復保存
 5月29日 山形市役所東高会総会
 6月20日 第1回山形県庁東高会総会
 7月3日 米沢支部総会
 7月6日 全国大会出場選手激励会
 7月10日 会計監査
 7月21日 文化部OB会総会
 8月23日 第2回役員会
 平成28年度監査報告
 平成29年度同窓会総会・表彰式・まつり

8月25日～27日 山東祭(学校)
 8月26日 「30歳になったら東高に帰ろう」
 ホームカミングデー 東節会
 9月1日 第1回評議員会
 第1回・第2回役員会と同じ内容
 10月13日 酒田山東会総会
 10月14日 河北山東会総会
 10月20日 同窓会総会・表彰式・まつり
 10月29日 創立133周年記念式典(学校)
 11月7日 東根支部総会
 11月11日 尾花沢支部総会
 11月13日 奉公旗修復見学会
 11月14日 仙台同窓会総会
 11月18日 山中山東東京同窓会懇親会
 山中山東東海同窓会総会
 11月25日 関西山中山東同窓会総会
 寒河江支部総会
 12月2日 山辺支部総会
 12月3日 栃木県支部総会
 12月20日 松田杯等四賞授与(学校)

平成30年

1月13日 大石田支部総会
 1月21日 上山山形東高同窓会親睦総会
 2月2日 体育部OB会総会
 2月3日 山形市歯科医師会山東会総会
 2月9日 第3回役員会
 平成29年度補正予算
 平成30年度事業計画・予算
 平成29年度まつり決算報告
 平成30年度まつりの日程
 2月16日 山東教育後援会へ寄付金贈呈
 第2回評議員会
 第3回役員会と同じ内容
 2月19日 第2回山形県庁東高会総会
 3月2日 同窓会入会式
 平成30年卒山東68回讃嘆会
 3月3日 平成29年度卒業式(学校)
 同窓会特別賞授与
 3月23日 まつり引継会

平成29年度同窓会まつり

東翔会（山東30回）・東愛会（山東52回）

平成29年度の同窓会総会・表彰式並びに同窓会まつりは、10月20日金曜日、山形市のホテルメトロポリタン山形を会場に、過去最高の600人を超える会員と来賓の方々を迎えて盛大に開催されました。

総会ではまず、物故会員に黙祷を捧げ、平成28年度の事業報告と決算、平成29年度の事業計画と予算が承認されました。この後「奉公旗」の修復保存について報告がありました。「奉公旗」は、本校生初の大員である結城豊太郎氏が母校を訪問した際に持参したもの。込められた精神やその重要性が改めて説明され、寄贈から80年にあたる平成29年度に修復保存に取り組むことが報告されました。

表彰式では永年勤続職員に感謝状が贈られ、同窓会功労者として山東11回（東士会）の高山克英氏が表彰されました。また喜寿祝賀者として昭和35年卒の「東濤会」の参加者にお祝いと記念品が贈られました。

同窓会まつりではオープニングとして雅楽が披露されました。県内の神社関係者を中心に構成され、山東卒業生も参加している「祭祀楽研修会」の皆さんによる演奏です。宮内庁式部職楽部より毎年指導を受けている由緒ある雅楽会というだけあり、その演奏で会場が厳かな趣に包まれました。浜田敏同窓会長はあいさつの中で、新年度から探究科2クラスが新設されることに触れ、来賓を代表して祝辞を述べた佐藤俊一校長は探究科設置の趣旨を説明するとともに、同窓会へのより一層の支援を求めました。

祝宴は第35代校長の山川博史氏のご発声による乾杯でスタートしました。どのテーブルも山東生時代を中心とした往時の懐かしいエピソードや近況の報告などで大いに盛り上がった様子で、同窓会まつりならではの楽しいひとときを過ごしていただきました。話が尽きず名残惜しい中ではありましたが、次期当番幹事の挨拶、応援団OBが登壇しての「おゝ勝利」の大合唱に引き続き、山中山東東京同窓会の金井浩一郎会長のご発声で万歳三唱してお開きとなりました。

今年度の当番幹事は、東翔会（山東30回）と東愛会（山東52回）が務めました（実行委員長 鈴木隆・東翔会、副実行委員長 吉田昌平・東愛会）。2学年の実行委員が協調して準備を重ね、当日は両学年の卒業生が全国から駆け付け、運営に関わることができました。

最後になりましたが、準備に際しまして、ご指導ご協力いただきました渡辺季子同窓会事務局長をはじめ事務局の皆様、昨年の当番幹事並びに各学年の評議員の皆様に厚く御礼申し上げます。

（東翔会 日野理弘 記）



平成29年度 同窓会表彰式

《同窓会功労者》 ^{たか やま かつ ひで} 高山克英氏 (山東11回・東士会)

【表彰理由】

昭和59年から23年間の長きに亘って山東同窓会副会長等を歴任され、誠実なお人柄と深い見識で、同窓会会則の改定をはじめとして、同窓会の様々な活動を牽引されました。また、平成7年から現在に至るまで、山形東高奨学会役員として、母校生徒の修学環境整備支援にご尽力されています。

このように長年に亘り同窓会活動と母校の教育の発展に、多大な貢献をされておられるご功績に対し、甚深なる敬意をこめて、この度の受賞となりました。



平成30年度

同窓会総会・表彰式・まつり

土曜日開催のため、総会は5時開始になります
のでご注意ください。

- ◆ 日 時：平成30年10月13日(土)
総会は午後5時より
- ◆ 会 場：ホテルメトロポリタン山形
- ◆ チケット：5,000円(予定)
購入は各学年の評議員(同窓会役員欄を
参照)にお申し込み下さい
- ◆ 当番幹事：五六会(山東31回)
東魂会(山東53回)



東濤会あれこれ

会名の由来：社会の荒波に立ち向かえ 昭和35年第10回卒業の10を「とう」と読み、これに怒濤の濤を宛て「社会の荒波に堂々と立ち向かえ」の意を含め、故武田与三郎先生が名付けてくれた。たった3年間の高校生活だったのに、その後60年もの年月、同期生として友情を保ち続け、絆を深めてきたすばらしい人生に感謝するばかり。

組織と活動 組織的には東濤会(会長佐藤章夫)本体と山形東濤会(秋葉建司)、東京東濤会(畠山千蔭)、富士見会(古川智義)の地域会があり、それぞれに趣味の同好サークルができた。加えて、鹿野道彦君の政治活動を支える「道の会」があり、年一回の政治報告会、選挙のたびごとの応援で結束を確認した。東高周年事業などでの同窓会からの募金要請には毎回満額を超えて献金。

物故者に黙祷 平成29年10月現在、物故者は69名。冥福を祈って合掌。

退職後も老い知らず 多趣味な才人たち 後期高齢者の現在でも、活動するサークルは以下のとおり。()内は指導者名。

濤親論語会(全巻読み終えていったん休会 佐藤浩平)、濤墨会(浦山宏)、濤句会(三井量光)、濤謡会(松田博之)、みのり会(野菜栽培 佐藤章夫・実は夫人)、濤碁会、ゴルフ、マージャン、他にも小旅行グループ等々。先生も会員、生徒も会員の不思議なサークル。皆んな勉強熱心で技術も進歩。

「アガスケ」集団 「アガスケ」会員が多いことから古稀の会に併せて文化祭(展覧会と音楽会)を開催したところ一般市民も大勢、観・聴きにきてくれた。喜寿祝いの今回も音楽会を10月19日山形テルサ・アプローズで実施、展覧会を10月20～24日、芸文ギャラリーで開催中。臆面もなく人生最後の「アガスケ」ぶりを誇示。

「喜寿」を語る会 10月19日、堀是治会員経営のホテルつるやで、84名が集まって「喜寿を語る会」を開催。20日朝は観光班とゴルフ班に分かれて行動し、午後5時、同窓会祭りに再結集したのは52名。観光コースは蔵王登山と山寺参拝、母校見学。母校では今も教鞭をとる武田三十郎君が案内。ゴルフは関東勢と合同でプレー。

事務局・裏方に感謝 初期の事務局は江川洋祐君、後半は故鈴木正朗君の企画力と根回し。会計・事務に抜群の能力を発揮した岡田勲光君に心から感謝。

母校東高校の今後の精進と弥栄、同窓会のご発展を祈ります。

(佐藤 章夫 記)



蔵王温泉五感の湯つるやにて

母

校

文 武



商 道

近

況

おもな大学の合格状況

東標会 (平成29年3月卒業)

合格状況は、東大は受験者16名中5名合格。過年度2名で合計7名であった。現役では文二に1名、理一に4名合格した。東北大現役34名過年度11名で45名合格。現役での文学部への合格がなかった。文系学部・理系学部ともにここ数年は東北大の合格者数が減少している。国公立大医学科は、東北大現役2名過年度4名の計6名。山形大現役2名過年度4名の計6名、新潟大現役1名、秋田大過年度1名、福島県医大過年度1名で、現役と過年度をあわせ15名であった。私立大進学者は40名程度であった。

讀燦会 (平成30年3月卒業)

合格状況の概況は次の通りである。東大は、現役3名の合格であり、文二2名、理一1名であり、過年度の合格はなかった。現役での受験者は16名であったが、厳しい結果であった。東北大についてはここ数年、苦戦を強いられている。合格数は現役27名、過年度13名であった。今年度は特に、法学部の合格者がなく、文系学部での合格者が少なかった。新たに始まった医学科AOⅡ入試については2名の合格を出し健闘した。医学科の合格者は現役3名、過年度2名である。文系学部・理系学部ともに、関東・中部からの受験者が増えている傾向が続いており、難易度は高くなってきている。山形大医学科については、一般推薦(センター試験必要)現役1名、一般入試(地域枠を含む)で現役2名、過年度7名の計10名の合格であった。国公立医学科への現役進学は8名、私立大学医学科(自治医大を含む)への現役進学者4名である。私立大進学者は30名程度あり、少なめである。

平成28年度(東標会)・平成29年度(讀燦会) 大学合格者数(延人数) 単位:人 ※現役合格のみ

【国立大学】

大 学	人 数	東標会	讀燦会
帯 広 畜 産	1		
北 海 道	3	1	
弘 前	2	1	
岩 手	1		
秋 田	3	1	
東 北	文 6		
	教 4	1	
	法 4		
	経 12	5	
	理 4	2	
	工 4	7	
	農		
	医 2	3	
	保 4	1	
	歯 1		
	薬 1		
	全 34	27	
山 形	医 2	3	
	全 20	30	
宮 城 教 育	8	1	
福 島		3	

大 学	人 数	東標会	讀燦会
茨 城	1	1	
筑 波	2	3	
宇 都 宮	3	1	
埼 玉	3	2	
千 葉	1	5	
お 茶 の 水		1	
東 京	文 1	2	
	理 4	1	
	計 5	3	
電 気 通 信	1		
東 京 医 歯	2	1	
東 京 海 洋		1	
東 京 学 芸	1	4	
東 京 芸 術	1		
東 京 農 工	1	1	
一 橋		1	
横 浜 国 立	1	1	
新 潟 大 学	21	23	
金 沢		2	
名 古 屋	1	1	
奈 良 女 子	1	1	

大 学	人 数	東標会	讀燦会
京 都		1	
長 崎	1		
琉 球		1	

【公立大学】

大 学	人 数	東標会	讀燦会
青 森 公 立		1	
岩 手 県 立	1		
宮 城 県 立	4		
茨 城 県 立 医 療	1		
高 崎 経 済	1	3	
首 都 大 東 京	1	1	
新 潟 県 立	1	2	
都 留 文 科	1		
兵 庫 県 立	1		

【私立大学】

大 学	人 数	東標会	讀燦会
東 北 医 薬	6	5	
自 治 医 科	1	1	

【短期大学】

大 学	人 数	東標会	讀燦会
青 山 学 院	3	5	
北 里	2		
慶 應 義 塾	8	4	
上 智		1	
中 央	4	7	
津 田 塾	2	4	
東 京 理 科	11	4	
東 京 女 子	3	1	
日 本 女 子	2	3	
法 政	2	6	
明 治	8	8	
立 教	3	4	
早 稲 田	13	3	
聖 マリアンナ 医	1	1	
同 志 社		2	
立 命 館	2	5	
そ の 他	37	69	

【看護学校】

学 校	人 数	東標会	讀燦会
山 形 厚 生 看 護		1	
山 形 市 立 病 院 済 生 館		1	

【海外大学】

大 学	人 数	東標会	讀燦会
ア-カンソー大(州立)		1	

【計】

大 学	合 計	東標会	讀燦会
国 立 大 学	116	120	
公 立 大 学	6	12	
私 立 大 学	108	133	
(国公立医学科)	5	8	
(私立医学科)	3	4	
合 計	230	265	

全大学の合格者数は山形東高のホームページ(<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>)の「進路指導」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

体育・文化活動総況

平成29年度も、たくさんの山東生が活躍しました。体育活動では、テニスは女子団体と単の佐藤、フェンシング男子サーブルで大沼、エペで阿部、フルーレで加藤、女子サーブルで神保の5名がインターハイに出場しました。全国高校選抜大会には、個人で弓道の工藤智が出場を果たしています。

文化活動では、全国高総合文化祭宮城大会に美術部が県代表として参加し、木村祥久が出品。囲碁将棋部の将棋部門では男子団体に星澤成・叶内紘介・矢澤灯が出場し第5位に入賞しました。囲碁部門では県チームとして武田華門、竹村朝が出場しました。放送部はNHK杯全国放送コンテストにアナウンス部門に丹野文佳、朗読部門に菅井瑚子が出場。また囲碁将棋部の矢澤灯が全国高等学校将棋竜王戦に出場しました。吹奏楽部は全

日本吹奏楽コンクール東北大会で創部最高の成績となる銀賞を受賞。演劇部は最優秀賞・創作脚本賞を受賞し、創部初の全国大会出場を決めました。

東北新人大会でも、テニス女子団体が創部史上初となる優勝を果たし、フェンシング男子学校対抗サーブルも第3位の結果を残し、全国高校選抜大会に、テニス女子団体、単の佐藤、フェンシング男子学校対抗サーブル、エペ(ベスト16)、女子学校対抗サーブルが出場を果たしています。

また、成績に掲載はされませんが、平成29年度のインターハイは南東北で開催され、山形県が幹事県でしたが、本校の樋口響が高校生活活動の委員長となり、準備・運営を県内の高校生が担い、大成功をおさめましたことも特筆したいと思います。他、今年度創設される探究部につながる活動も様々あり、こうした貴重な体験を積みながら山東生は大きく成長しています。同窓会の皆様の日頃のご支援に改めて御礼申し上げます。

平成29年度 松田杯等四賞

《松田杯》テニス部

平成29年度の主な成績

県高校総体	男子団体	第3位・女子団体	第1位
東北高校選手権	男子団体・女子団体	出場	
全国高校総体	女子団体	出場	
県新人大会	男子団体	第2位・女子団体	第2位
東北選抜大会	男子団体	第6位・女子団体	第1位
全国選抜大会(3月)	女子団体	出場	

《鈴木杯》大沼 靖 (フェンシング部)

平成29年度の主な成績

県高校総体	男子個人対抗	サーブル	優勝
東北高校選手権	男子個人対抗	サーブル	出場
全国高校総体	男子個人対抗	サーブル	ベスト16

《矢野牌》吹奏楽部

平成29年度の主な成績

全日本吹奏楽コンクール村山地区大会	優秀
全日本吹奏楽コンクール山形県大会	金賞 県代表
全日本吹奏楽コンクール東北大会	銀賞

《駒草杯》武田 華門 (囲碁将棋部)

平成29年度の主な成績

全国高等学校総合文化祭囲碁部門	山形県予選	個人戦	優勝
全国高等学校総合文化祭囲碁部門	山形県チーム	大将(6戦3勝)	

同窓会特別賞

《中村賞》	丹治 文子
《木村賞》	樋口 響
《山形東高同窓会賞》	高橋 博正
《山形中学校東高東京同窓会賞》	酒井 萌花
《山形東高仙台同窓会賞》	山崎 元太

体 育 部

平成29年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

■ 全国高校総体(インターハイ)

フェンシング	男子個人サーブル	大沼 靖	ベスト16
	男子個人エペ	阿部 貴久	ベスト32
	男子個人フルーレ	加藤 颯人	ベスト64
テニス	女子個人サーブル	神保 日夏	出場
	女子団体		出場
	女子個人単	佐藤 夏央	ベスト64

■ 国民体育大会

テニス	少年女子	佐藤 夏央	出場
-----	------	-------	----

■ 全国弓道選抜大会

弓道	近畿競技男子個人	工藤 智	出場
----	----------	------	----

■ 東北高校総体

卓球	男子団体		出場
テニス	女子個人単	佐藤 夏央	第3位
	女子個人複	佐藤 夏央・黒沼 愛生	第3位
	男子個人複	佐藤 渉・田村 翔	ベスト8
	男子団体		出場
フェンシング	女子団体		出場
	男子個人エペ	阿部 貴久	第5位
	女子個人エペ	蜂谷 璃子	第7位
	男子フルーレ	阿部 貴久	出場
		加藤 颯人	出場
		結城 右京	出場
	男子サーブル	大沼 靖	出場
		佐藤 亮介	出場
	女子サーブル	神保 日夏	出場
		高橋 美帆	出場
	女子フルーレ	蜂谷 璃子	出場

水泳	男子100m平	片桐 光貴	第4位
	男子4×100mMR		出場
	男子4×100mR		出場
	男子200m平	片桐 光貴	出場
	男子200m背	井上 凱	出場
	男子100m背	井上 凱	出場
	女子200m自由形	渡部 里実	出場
陸上	男子100m・200m	軽部 恭矢	出場

■ 東北高校新人大会

テニス	女子団体		第1位
	男子団体		第6位
水泳	男子100m平	片桐 光貴	第6位
	男子4×100mR		出場
	男子200m背	井上 凱	出場
	男子100m背	井上 凱	出場
陸上	女子三段跳	石本 早紀	出場

■ 全国高校選抜大会(北海道)・東北予選

テニス	女子団体		第1位
	男子団体		第6位
フェンシング	男子学校対抗サーブル		第3位
	男子学校対抗エペ		出場
	女子学校対抗サーブル		出場

■ 全国高校選抜大会

フェンシング	男子学校対抗エペ		ベスト16
	男子学校対抗サーブル		出場
	女子学校対抗サーブル		出場
テニス	女子団体		出場
	女子個人単	佐藤 夏央	出場

文 化 部

■ 全国大会

全国高等学校総合文化祭				
美術	美術・工芸部門	木村 祥久	彫刻作品「オアシス」	出 品
囲碁・将棋	囲碁部門	県団体チーム	武田 華門・竹村 朝	出 場
	将棋部門	男子団体	星澤 成・叶内 紘介・矢澤 灯	第5位

全国高等学校囲碁選手権大会

男子団体	武田 華門・竹村 朝・武田 蒼	出場
男子個人	武田 華門	出場

NHK全国放送コンテスト

アナウンス部門	丹野 文佳	出場
朗読部門	菅井 翔子	出場

全国高等学校将棋竜王戦

	矢澤 灯	出場
--	------	----

日本数学オリンピック予選	柏倉 伶音	Aランク
--------------	-------	------

■ 東北大会

全日本吹奏楽コンクール東北大会	高等学校の部	銀賞
東北地区高等学校囲碁選手権大会	県チーム・大将	竹村 朝 第3位

東北高等学校放送コンテスト

ラジオキャンペーン部門		出場
朗読部門	峯田 あみ・松木花菜子	出場

東北地区高等学校演劇発表会

奥山諒太郎・山形東高校演劇部作「ガブリエラ黙示録」	最優秀賞・創作脚本賞
---------------------------	------------

※誌面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。

部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ(<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>)の「山東通信」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

創立133周年記念式典記念公演

アクティブラーニングの時代の新しい教育の形

東京大学法学部卒業、同大学院教育学研究科博士課程を修了され、現在東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長でいらっしゃる小玉重夫先生にお話していただきました。その一部を抜粋して掲載します。



来年度から山形東高校に探究科が設置されるということで、皆さんはすでに探究的な学習に取り組まれているとお聞きしています。今日は探究的な活動を行っていくということが、これからの高校教育においていかに重要であるかをお話します。

新テストと18歳選挙権

私は秋田高校の出身ですが、国公立大学を受験する全員が共通テストを受ける制度の第一期生でした。この共通一次が、大学入試センター試験と名前を変えて今日まで続いていましたが、いよいよ2年後の2020年度から新制度に変わることになりました。高校1年生の皆さんは浪人すると新制度の入試を受けるというわけです。まさしく時代の転換期なのですね。そのことともうひとつ、昨年度から選挙年齢が18歳に引き下げられ、皆さんの中にもつい先日行われた衆議院選で投票に行った人もいたかと思います。高校3年生から選挙権が行使できるようになったことと、大学入試制度が新しくなることは、実は密接に結びついていて、国は、高校生が実際に社会に出て行くことを、もっと積極的に後押ししていくような改革を行おうとしているのです。

新学習指導要領のねらい

そこで目指されていることは何なのか。来年発表される新しい学習指導要領では、これまでのように知識技能の習得に重点を置くのではなく、学力をもっと広くとらえ、学んだことをどうやって社会に活かすことが出来るか、未知の状況に際して、その場で物事を考え判断し、表現することがいかに出来るか、こういうことを含めて学力ととらえようとしているのです。ですから学校で学んだことをただ単に知識として覚えて、テストでいい点数を取るということに特化せず、例えば、先日の衆議院選であれば、投票する時にどういうことを考えて投票したのか、実際に自分自身が考え、その考えを言えるようにしていこうと。そういう流れの中で学力を総合的に考えていこうとしています。そのために、実際に自分がものを考えてそれを文章に書くとか、自分が調べて研究したことをパワーポイントにして、プレゼンテーションするとか、そういうことをもっと積極的にやっていこうと。そういうことが出来るような高校生を育てて、社会に送り出していくようなカリキュラムにし、主体的に深い学びをさせていこう、それを私達はアクティブラーニングとよんで推し進めているのです。

映画『新ゴジラ』と『君の名は』

その意味では、社会に出ていく時に、学校と社会がどういうふう

に直に繋がっていくのが、非常に重要になります。これまでの学校は、ある意味非常に特殊な空間でした。リアルな現実生活から一旦遮断して、一定の年齢の者たちが勉強や集団活動を行う。学校で学ぶ教科・科目は、現実的な必要性を直接的に求められているわけではないけれども、皆さんはここでそれをやっている。それから文化祭や体育祭など様々な行事があり、競争や表彰が行われたりしますが、それも実はその場限りのもので、思い出には残ることはあっても、現実生活とはほとんど何の意味も関係ありません。これは考えてみれば非常に不思議なことで、皆それをやるという秩序が成り立っていたのです。これが今変化してきている。例えば2016年の映画『新ゴジラ』と『君の名は』では、学校は単なる虚構世界ではなく、現実世界と関わりを持った可能世界として、社会と結び付き始めていました。そういう可能世界と現実世界の相互進行というのを象徴するように描いたのが映画『新ゴジラ』であり、『君の名は』であると言えるのではないかと思います。ですからこれからアクティブラーニングでは、いろいろな現実社会の中で論争になっていることを、いくつかの可能性を含めて学び探究していこうとする、まさに探究なのですが、そういう学習が学校の中でメインになっていくことを、是非認識していただければいいのではないかと思います。

今後の学校について

今まで話してきたことをまとめると、日本の学校は、現実を動かす理想の場として存在していたのだけれど、高度成長期に受験体制がだんだん広がっていくと、現実とは切り離された虚構の場になっていった。そのため学校は基本的に勉強して、いい点を取るための場になっていた。それが今日では、新しい形で18歳選挙権や、アクティブラーニングの時代の中で、現実世界と相互進行する可能世界の場になっているのではないかとというのが、今日私が言いたかった一番のポイントです。ですから学校を可能世界として見るという視点に立つことで、アクティブラーニングと18歳選挙権の時代の学校の特徴というものをとらえることができるし、そういう可能世界としての学校を生きる皆さんは、バーチャルなところから現実に入り込むという視点と、それから現実そのものを扱うという視点の両方を自由に駆使しながら、探究的な活動を是非していただきたいと思っています。

【最近の著書】

『教育政治学を拓く 18歳選挙権の時代を見すえて』

(勁草書房 2016年)

『カリキュラム・イノベーション：新しい学びの創造へ向けて』

(東京大学教育学部カリキュラム・イノベーション研究会編集)

東京大学出版会 2015年)

第63回体育部OB会総会



平成30年2月2日、山形新幹線の一部運休・遅延にもかかわらず、300名を超える運動部の諸先輩が山形グランドホテルに集い、総会・懇親会が盛大に開催されました。(本年の当番幹事は山岳部と弓道部)

総会では、第63回体育部OB会功労賞受賞者、平成29年度体育部活動状況、平成29年度決算の報告や、平成30年度予算案などが協議され、満場一致で承認されました。また、今後の当会のあるべき姿にも話が及び、たいへん充実した内容の総会となりました。

懇親会は、応援団と吹奏楽部による「突撃のテーマ」「校歌斉唱」で幕を開けたことにより、参加者は若き日を思い起こし、会の初めから大きな盛り上がりを見せました。森谷会長挨拶では、現役のより一層の奮闘を支えるため当会が尽力することを約束した後、佐藤俊一校長へ強化費贈呈。佐藤校長からは、平成29年度東北大会・インターハイ・全国選抜における目覚ましい活躍の報告と平成30年度における一層の活躍に向けた抱負が述べられました。

浜田敏同窓会会長からのユーモアも含まれた激励の挨拶に続き、功労賞受賞者への賞状・記念品の授与。受賞者代表として佐藤松兵衛先輩よりいただいた挨拶では、当校体育部の歴史と伝統を改めて深く感じさせられました。

山岳部OB佐藤省三先輩による乾杯のご発声の後、盛大な祝宴が始まり旧交を深め合いました。

会の最後には、次期当番幹事の剣道部OB倉岡憲雄先輩・ハンドボール部OB山口圭介先輩の挨拶の後、応援団OB全員に登壇いただき、現役にも勝る指揮により「おゝ勝利」が高らかに斉唱され、弓道部OB中村直資先輩による万歳三唱で会を閉じました。

今回の功労賞受賞者は、以下のとおりです。

(25回弓道部 青木 敏 記)

体育部OB会功労賞受賞者 (敬称略)

水泳部の佐藤松兵衛 (山東19回)・長井健二 (19回)、野球部の平井康博 (20回)・吉田藤兵衛 (20回)、山岳部の鍋谷博敏 (13回)、弓道部の鈴木隆夫 (20回)、卓球部の伊勢和正 (25回)、バレーボール部の佐藤英雄 (7回)・伊藤博夫 (18回)・高橋洋一 (18回)・寒河江敬史 (19回)、バドミントン部の三浦政治 (25回)、フェンシング部の鈴木進二 (21回)、応援団の保坂淳 (30回)、学校関係者の阿部好弘・佐藤隆志・高橋明、以上17名。

第25回山東文化部OB会総会



平成29年7月21日(金)、山形グランドホテルに於いて「第25回山東文化部OB会総会」が、浜田敏同窓会長はじめ多くの来賓のご臨席のもと多数の会員が集い盛大に開催されました。総会においては、吉田長一郎会長が議長となり、平成28年度の事業及び決算報告、役員改選、そして平成29年度の事業計画と予算が審議され、可決承認されました。

新役員は以下の通り全員再選となりました。

会 長 吉田真一郎

副会長 坂部 忠彦 伊藤 吉明 黒木 誠司

幹事長 武田 信博 副幹事長 高橋 一夫

監 事 佐藤 喜成 遠藤 涼一 尾形 源二

以上のメンバーで吉田会長を中心に2年間OB会を運営してまいります。新役員体制への移行期間とし、なんとか次にバトンタッチを行いたいと考えております。

総会後の記念講演では、第37回卒・鴻紀会の長岡弘樹氏に講演をお願い致しました。演題は、「一編の小説が出来るまで」長岡氏が小説家を目指し、小説家になるまでの過程の話や、小説が完成するまでで最も重要な事や、小説のヒントを何処から持ってくるかなど、作家が最も秘密にすべきことをさりりと話されたこと驚きを感じました。作家としての自信の表れなのかもしれません。今後の活躍を期待する講演会となりました。また鴻紀会の皆様も講演会・懇親会に参加していただきました。

その後、懇親会に移り同窓会長、学校長の挨拶、体育部OB会会長の乾杯で会員同士が和気藹々の懇親を深めました。当番幹事でありました物理部・新聞部・文芸部の会員の皆様ありがとうございました。次回第26回総会は7月20日。当番部は生物部・演劇部・化学部になります。多数のOB会員の出席を期待しております。

(幹事長 武田 信博 記)

知音ふあいる

若手会員の
プロフィール紹介コーナー

人脈と見えない力

佐久間 聡一 (平成13年卒業・東晩会)



私は山東同窓生としては少し珍しく、ヴァイオリニストとして活動しています。

仕事から全国あちこちに演奏しに行くのですが、そこで終演後に同窓生の方に声をかけて頂くことがとても多く、全国にいらっしゃるその人脈に驚きます。さらには興行の主催者側がその土地の企業様であることが多いのですが、その方と、山東の話題盛り上がることも少なくありません。

音楽の業界は非常に狭く、そこで共通の話題になるのは普通なのですが、私の場合は高校の話で初めて会った方と話が盛り上がっているのも音楽仲間も、どんな高校なの!?と目を丸くしています。

ところで、私はオーケストラでは広島交響楽団のコンサートマスターを務めております。中四国地方では唯一のプロオーケで、明るく自然な音色が持ち味のオーケストラです。

コンサートマスターとは、指揮者とオケメンバーの橋渡し役です。指揮者は個性的でさらに日本語が話せないこともあるので、コミュニケーション能力が問われます。英語とドイツ語が話せるので、会話は大丈夫なのですが、それ以上に、指揮者が何をやりたいのかを感じとる直感的能力が求められます。その直感的なイメージやひらめきは、高校時代の個性的でありながら考えを持った友人達との交流で培ったものです。

探究心と努力の仲間達に囲まれて3年間を過ごし、自然にコミュニケーション能力が身についたのは、本当にありがたいことです。楽しく過ごした3年間に、素晴らしい人脈と、自然に身についた交流力という、お土産までいただき、なんてありがたい高校なのでしょう。私も35歳になり、そんな山東や山形の皆様に、ヴァイオリンを通じ少しでも恩返し出来ればと2017年より自分のシリーズを展開していくことにいたしました。

年数回は山形に戻り演奏させていただいておりますので、お時間が許しましたら、どうか演奏を聴きにいらして下さいませ。

各同窓会だより

(順不同)

◇関西山中山東同窓会

紅葉まっ盛りの11月25日(土)に、平成29年度関西山中山東同窓会の総会・懇親会をホテルグランヴィア大阪で開催しました。

ご来賓として、同窓会本部から浜田会長、母校から田村教頭先生、また山形県大阪事務所から渡辺所長にご臨席いただきました。浜田会長からは、若い世代の同窓生に焦点をあてたいろんな取り組みを、田村教頭先生からは次代を担う人材の育成を目指した「探究科」の設置などをご紹介いただきました。

また、遠路上海から駆けつけてくれた豊嶋豊和氏(S59・山東34回卒)の中国のホットニュースの披露を皮切りに参加者全員が近況や懐かしい青春時代の思い出を語り合い、山形地酒や高島ワインを堪能しながら大いに盛り上がりしました。最後は、『おお勝利!』を声高らかに歌い豊嶋氏の大エールで締めました。

今回の総会・懇親会は平成30年11月3日(土・文化の日)開催と決定。全員、元気で再会することを誓い合い、盛会のうちにお開きとなりました。(幹事長 杉沼 寛善 記)



◇東京同窓会

正式名称：山形中学校・山形東高等学校東京同窓会は、卒業生及び縁故者の内、主に関東東京方面に居住する登録三千五百名の会員で構成され、母校の隆盛を念とし、会員の親睦を図ることを目的として活動しております。その精神は母校ファースト・同窓会セカンドで、同級生との横の繋がりと、先輩後輩との縦の繋がりを織り成しています。毎年定例の総会・懇親会では200名超の参加を得て、年度ごとの幹事が練り上げた余興や郷土料理で盛り上がり、壮若男女会員の懇親を深めています。9月にはやまがた育英会駒込寮の学生さんとの交流会、10月には在校2年生が首都圏研修として上京し企業を訪問して、先輩企業人の働き方や生の声を見聞きする実践体験を支援しています。さらに都内公園で屋外芋煮会を開催し、覚えのある者が腕を振った味付けに故郷山形を懐かしみます。また在校生の表彰として、12月には成績優秀の体育部に松田杯、文科活動に励んで顕著な個人に駒草杯を贈呈し、3月の卒業時には人格成績優秀者に東京同窓会賞を贈っています。

毎年発行の「同窓会だより」は自慢できる充実した内容で、読み応えがあります。バックナンバーはホームページから閲覧できます。

関東方面に進学された学生さんや、関東に転勤されてきた社会人の方、また同窓会だよりを読んでみたい方は、ぜひ同窓会ホームページにアクセスして活動に触れてみてください。



新規会員は皆「こんなに和気あいあいだとは思わなかった」と言います。百聞は一見にしかず。

同窓会のホームページは<http://uzen33.net> または「山形東東京同窓会」で検索ください。

(幹事長 金井 浩一郎 記)

◇東海同窓会

年に一度の大きなイベントとしての秋季の東海同窓会総会開催に向けて、何度か役員会を重ね、各方面から検討を行い、準備を整えてまいりました。11月18日の総会には、山形から本部同窓会副会長の矢野秀弥殿、母校同窓会校内幹事の荒川和幸先生にご列席いただき、このほか山形県名古屋事務所所長早坂誠司殿、東海山形県人会会長今田正則殿にもご列席いただきました。総数27名の参加ということで、まずまずの集まりで幹事一同ほっといたしました。実はもう一人、将来の有望な同窓生となるかもしれないお子さまの参加もございました。地元CBCテレビ局のニュースキャスター大石邦彦君(平成元年卒)のご子息です。さて今回は、初めて参加された方が3名おられ、参加者の増加に向けての我々の模索にある方向性を与えてくれたような気がいたします。総会終了後、「本部同窓会の活動について」のお話を矢野同窓会副会長から、「山形東高校だより」を荒川先生からご講演いただきました。最近では、入学者の半数以上が女子で占められる場合もあるとのお話に、時代の変遷を各人それぞれが異なる度合いで認識させられたことでしょう。そのほかのご来賓の方々のお話の後に続く懇親会では、まず初参加の会員の方々の自己紹介から始まり、懇親を深めつつ、その後何人かの会員の方々から近況報告をいただき、和やかな雰囲気の中で無事、東海同窓会を終えることができました。以下の写真はその時の集合写真です。(海野 紘治 記)



◇栃木県支部

栃木県支部は栃木県及び茨城県北部の方を会員としています。

総会と懇親会を以前は芋煮会時期の10月に開催していましたが、この時期は他の行事と重なり、本年より12月開催に変更しました。内ヶ崎先輩(山中61回卒)も元気で参加され、また今回より茨城県在住の江川先輩(東高10回)も参加されました。

総会では会計締め月の変更を決め、10月の山形での同窓会総会の報告を受けました。講演会では佐々木先輩(東高15回)のオーディオを趣味とした



定年後の活き活きした生き方についてお話いただきました。

懇親会では寄贈いただいた、山形の幻の銘酒をいただきながら、各人の当地における状況や信条また山形の思い出等のスピーチを聞き懇親を深めました。最後に昔を思い出しながら校歌と応援歌を歌い、楽しいひと時を過ごしました。次年度は半年後に幹事会を開催して総会の日程を決めていきたいと思っています。(武田 康夫 記)

◇仙台同窓会

仙台同窓会は11月14日(火)にハーネル仙台において、来賓に同窓会本部の浜田会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、総会を開催いたしました。今年は、知人に紹介されて初めて参加された方も数名おり、総勢46名の参加者となりました。初めに、来賓の浜田会長と佐藤校長先生から故郷山形の近況や母校の近況として後輩の進学の状況や部活動におけ

る活躍の状況等についてご挨拶いただき、その後総会の議事に入りました。総会では大山会長(山東12回)を議長に、会務報告、会計報告、役員改選と滞りなく議事を終えることができました。引き続き開催された懇親会では、初めのうちは食事を取りながら同年代の方々と高校時代の思い出話や自分の近況などの話で交流を深めている状況でしたが、お酒が進むにつれて世代を超えた交流も広がり、お酒を酌み交わしながら故郷山形の話や高校時代の恩師の先生や校舎の話などに懐かしさと年代の違いによる驚きを感じながら、思い出話で盛り上がりました。その後、恒例となった出席者全員参加のじゃんけん大会を行い上位3位までの方に年齢に関わらず、これから勉学に励んでいただきたいということで、今年も「図書カード」を贈呈し、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。

(五味 孝志 記)

◇山辺支部

昨年12月、例年のとおり第1土曜日(2日)に、ここ20年ほど毎年お世話になってきた「三河屋」(ご子息2人とも山東卒)の閉店により同じく町内の「寿司政」に会場を移し、浜田会長、佐藤校長先生、渡辺事務局長の御三方をお迎えして第37回総会を開催しました。

浜田会長から中堅、若手の事情を考慮した総会の開催や情報提供のこと等、佐藤校長からは新学科設置をはじめ学校の現況をお聞きし、重ねてきた年月を遡って我が身に「青春」を重ね合わせて一時を過ごしました。今回は役員改選が行われ、伊東信会長(新任)、遠藤直幸副会長(再任)、宗田一彦幹事長(新任)、峯田和宜会計(新任)の体制で新年度に臨むこととなりました。7か年にわたり会の運営にご尽力いただいた渡辺甚一郎会長にはただただ感謝申し上げるばかりであり、新たに顧問に就いていただくこととなりました。会員の参加者は16名のみ(少数精鋭?)でしたが、何かとご多用の中をご出席いただいた来賓の方々と囲んで話の輪が幾重にも広がりました。心から御礼を申し上げる次第です。

時節柄、決まって雪やみぞれの晩になることが多いのですが、当夜は流れる雲に遮られながらも月の明かりが射し込む夜空を仰ぎ見て、母校の更なる飛躍を祈念しながら帰宅の途につきました。

(前幹事長 三浦 繁則 記)

◇米沢支部

恒例の山形東高同窓会米沢支部総会が7月3日、米沢市内ホテルで開催されました。当日は浜田敏同窓会長、佐藤俊一校長、渡辺季子同窓会事務局長の出席を得て37名の参加者により盛会裡に終了しました。

本支部では、毎年、会員による講演会を実施しており、本年は『結構すごいんです！YBCラジオ』と題して、山形放送米沢支社長、村山朋幸氏(平成元年卒)でした。ラジオ激戦区の本県で、昭和28年開局のYBCラジオは県内ラジオ局別シェアの48%という圧倒的実績を誇っており、聴取率5.9%とテレビに匹敵するメディアであるとの事。山東卒の梅津社長が経営する、「米鶴酒造」のラジオやテレビのデモCMが放映され、その宣伝効果の高い事が紹介されました。またTV分野ではYBCの平均視聴率が9.6%と本県では最大の視聴率が得られているとの事でした。新しい話題として、「ラジコ」というスマホやPCでラジオが聞けるアプリの紹介もなされニューメディア開発にも取り組んでいることが紹介されました。最後に平成24年卒の、本学出身のYBC入社2年目の「山



川麻衣子」アナウンサーより山形のテレビスタジオより本支部に向けてご挨拶とメッセージが寄せられ一気に会場は盛り上がりしました。

支部長は大久保重範氏(昭和41年卒)の後を継いで小関清夫氏(昭和45年卒)が就くこととなりました。大久保氏にはこれまでの御功勞に感謝申し上げ感謝状と記念品を総会にて贈呈いたしました。

(笹原 裕一 記)

◇東根支部

東根支部の平成29年度同窓会が9月25日に浜田会長、佐藤校長をお迎えして東根温泉の青松館で開催されました。総会では、支部活動が再開された平成25年度から会長を務めてこられた石山泰博会長が勇退され、新たに武田信一会長が選任されました。引き続き行われた懇親会では、顧問でもある地元の土田正剛東根市長も参加されました。

同窓会長、学校長からは母校の近況について報告があり、それぞれの会員が現役時代との違いなどを感じ取っていました。その後、副会長の矢萩健蔵氏の指揮で校歌を斉唱したあと、参加者総勢28名、学生当時の思い出などを語り合っ

て懇親を深めました。東根市には、平成28年4月に山形県で最初の県立中高一貫校である東桜学館が開校し、子供たちの進路の選択肢が増えたことから、その動向も気にしながらも、母校へ多くの後輩が進学することを期待していました。

最後は、元応援団長の保坂淳幹事のエールで応援歌「お〃勝利」を歌い、あらためて同窓の絆を確認することができました。

(幹事長 浅野目 勇 記)

◇山形県庁東高会

山形県庁東高会は、会員数289名で運営され、会員相互の親睦を図るとともに、母校への支援活動を行っております。

毎年、2回の定期総会を開催しており、平成29年度は、山形市内のホテルにおいて、6月20日に第1回総会、2月19日に第2回総会を開催いたしました。総会は、校歌斉唱にはじまり、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、また、母校への支援活動の一環として部活動奨励費等を大澤賢史会長から贈呈させていただきました。引き続き懇親に入り、酒肴を囲んで懇談し、旧交をあたためたところです。最後に「お

お勝利」を謳い上げ、万歳三唱を行い、散会いたしました。

(事務局長 白田 恭平 記)

◇山形市役所東高会

山形市役所東高会は総勢141名が一丸となり、市勢の発展のため、日々頑張っております。

さて、当会では会員の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしております。

昨年5月29日に開催した総会では、佐藤校長先生、浜田同窓会長、渡辺同窓会事務局長からご臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりしました。



また、今年1月25日に開催した新年会では、今年度をもって退職される会員の方々と囲み、思い出話に花を咲かせました。

これらを通じ、会員同志の絆をさらに深めたところであります。

(庶務幹事 多田 進一 記)

◇尾花沢支部



支部総会及び懇親会を、11月11日(土)市内「食彩酒楽 阜月」で開催しました。ご来賓に浜田敏同窓会

長、佐藤俊一校長先生をお迎えし、また、大石田支部からも庄司喜與太副支部長、布川元幹事長にご出席いただきました。

総会に先立ち、尾花沢市からの新入生3名の激励会を開きました。富士盛良一支部長、会員の菅野真紀氏、そして佐藤校長先生から激励の言葉があり、記念品を贈呈しました。新入生からは、それぞれ、感謝とこれからの決意についての力強い言葉があり、会員一同、高校生の堂々としたスピーチに大いに感心しました。

今年も、女性2名の会員を含め、若い会員多数の参加があり、総勢16名での大変賑やかな総会、懇親会となりました。また、場所を移動しての二次会へもほとんどの会員が出席し、一層親交を深めました。浜田先生、佐藤先生には、大変お忙しい中、遅い時間までお付き合いをいただきまして、誠にありがとうございました。(幹事長 鈴木 欣一 記)

◇河北支部



平成29年度の河北支部総会は、町内の「紀の代寿司本店」にて10月14日に開催されました。ご来賓に同窓会本部の浜田会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、祝辞では部活動の活躍状況や探究科が創設されることを伺いました。

その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おお勝利」を合唱し、散会いたしました。

(幹事長 古澤 広喜 記)

◇寒河江支部

平成29年11月25日の土曜日 寒河江市のホテルサンチェリーにおいて平成29年度の山東同窓会寒河江支部の総会が

行われた。

当日は31名の参加で総会は特に問題なく終了した。その後、当地区の山家重之氏の「大戦前後の我が母校」という演題にて講演会が行われた。懐かしい旧校舎の写真資料などをと、山形中学校時代から山形東高校になるまでの歴史など大変興味のあるものであった。

また山東高の名物M教師の思い出話なども出て、たいへんおもしろい講演であった。その後懇親会が行われた。

母校からの来賓はいにく欠席であったが、同窓会からは鈴木隆一副会長が来賓として参加され盛況に行われた。また病気療養中であった前支部長の尾形氏が社会復帰の第一陣ということで4年ぶりに車椅子にて参加された。

懇親会の途中から前衆議院議員の近藤洋介氏も参加され大いに盛り上がり、最後に皆で「おお勝利」の合唱にて締めくくった。

(石川 隆 記)



◇酒田山東会

平成29年度の酒田山東会総会は、母校より佐藤俊一校長先生、そして同窓会より佐藤松兵衛同窓会副会長にご出席いただき、10月13日に開催されました。総会では高橋会長からご挨拶をいただき、その後、佐藤同窓会副会長から同窓会の近況をお話いただきました。維持会費の納入率が特に若年層で低く、これに対する様々な取り組みの一環として、平成30年度から同窓会総会・まつりを土曜日の開催とし、中堅・若手が参加しやすいようにしていくとの事でした。また、今年度の役員は変更なく、全員が了承されました。懇親会では校歌斉唱の後に、佐藤校長先生から母校の近況をお話いただきました。主な進学先や、運動部・文化部の活躍のほかに、平成30年度から探究科2学級を新たに設置し、2年次からは理数探究科か国際探究科に分かれ、それぞれの学科において特色ある教育活動を展開し、より専門性を高めていくとの事で、皆興味深く聞かせていただきました。その後、高瀬副会長の乾杯の音頭でにぎやかな酒宴となり、老いも若きも大いに語り合い、各自の近況報告が行われました。最後に「おゝ

平成30年度 ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆平成29年度ホームカミングデーに参加して

中野 祥子(旧姓 小幡) 平成17年 山東55 東節会 卒業

平成29年8月26日、山東祭最終日に私たち東節会のホームカミングデーが開催されました。残念ながら来られない人も多かったようですが、ホームカミングデーとしては過去最高の人数が集まったとのことでした。ご出席頂いた5人の恩師の先生方は当時の授業の思い出のままで、高校生に戻ったような気持ちになりました。同級生との当時の懐かしい話、今どうしているか、仕事はどういうことをしているかなど話は尽きず、あっという間に時間が経ちました。

最後になりましたが、お忙しい中、私どものホームカミングデーにお越し下さった恩師の先生方、また、この会を企画・運営して下さいました同窓会事務局の皆様にご感謝申し上げます。

- ◆ 日 時：平成30年9月1日(土)
山東祭の一般公開日／午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 参 加 者：瑞雪会(山東56回)
- ◆ 来 賓：学年担任の先生方
- ◆ 内 容：30歳を記念して母校を訪問し、恩師や仲間と楽しいひと時を過ごしてみませんか。多くの瑞雪会員の参加を、お待ちしております。

勝利」を歌って、エールであつという間に終了となりました。今年は山形銀行の行員の方々から多数参加して頂き、計22名と昨年よりかなり人数が増えて、にぎやかに、楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年もよろしくお願い致します。



(幹事長 岡田 恒弘 記)

◇大石田支部

新年1月13日(土)に、大石田支部の総会をそばの名店きよそばにて執り行いました。今冬の豪雪の中、珍しく雪が止みホッとする穏やかな日でした。当支部総会は、毎年センター試験の初日に行っています。そのようなお忙しい中、浜田敏同窓会長、佐藤俊一校長先生をはじめとする御来賓の方々にご出席いただきました。ありがとうございました。

残念なお知らせがございます。昨年の支部総会にて支部長に就任された庄司英貴さんが病気で亡くなられてしまいました。入退院をしていますが、昨年秋にはすっかり元気な姿で幹事会に参加され、一緒に酒も呑み総会の日を楽しみにしていました。突然の訃報に言葉がありません。また、元支部長の市村恕さんもお亡くなりになり、更には、支部会員のご家族の方々にも不幸が続きました。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。

そのような中でしたが、当支部幹事の戸田さんから結婚報告があり、全員で盛大に晴れのムードを分かち合いました。末永くお幸せになっていただきたいと心より祈念いたします。

ところで、東高では平成30年度から探究科を設置して新たな取り組みをスタートさせるとのこと。また、大学入学共通テスト(仮称)が平成32年度の入試から導入されることにも対応していくことになるでしょうから、生徒の皆さんが質の高い学習によって、大きく飛躍する人材に育つことを期待しています。

最後になりますが、今後新支部長を選任することになりますが、新体制の下、ますます大石田支部を盛り上げて参りたいと思いますので、皆様にどうぞよろしくお願い致します。(事務局 小松 修 記)



◇上山山形東高同窓会

平成30年1月21日に橋本屋旅館において第66回親睦同窓

会を29人の参加のもと開催しました。ご来賓として、矢野同窓会副会長、佐藤校長、渡辺事務局長をお迎えし、校歌斉唱の後、後藤直宏氏(東1回卒)に議長をお願いしました。役員改選では中村会長を始めとして全員が再任されました。



総会後の親睦会では、和やかな時間を過ごした後、来年の再会を誓って散会となりました。(江口 敏昭 記)

◇山形市歯科医師会山東会

平成30年2月3日(土) 浜なす分店に於いて、山形市歯科医師会山東会総会および新年会が開催された。西村修会長の挨拶の中で同窓会祭りの報告がなされ、同窓会維持会費の納入状況が減少してきていることや、新入生の子が男子を上回り、女性の躍進・活躍が著しいことなどを話された。団塊の世代の頃は新入生が370名位いて、教室や黒板が足りなくていろんなところから調達した、現在とは隔世の感があると懐かしんだ。本会の女性会員は2名のみで男性ばかり、いつになったら女性の会員が増えて参加されるようになるのか、皆さん待ち遠しいようでした。今回は14名の参加で懇親を深めたが、できるだけ若手の会員も進んで参加できるように意見も出された。



(副幹事長 清水 一衛 記)

◇関西山中山東同窓会(前年度)

復活第20周年の節目を迎えて、総会・懇親会を平成29年10月22日ホテルグランヴィア大阪で開催しました。遠く山形から浜田会長、菅間校長先生、また、山形県大阪事務所の渡辺所長にもご来賓としてご臨席いただきました。今年の特徴として「女性の躍進」や母校の昨今の取り組みを伺うとともに参加者全員が近況を報告し合い山形地酒や高島ワインを堪能しながら親交を深めました。

最後に、来年の再会を誓って盛会のうちにお開きとなりました。(幹事長 杉沼 寛善 記)



※都合により69号に掲載できなかったため、70号に掲載致しました。

第68回卒業会名

さん さん かい 讃 燦 会

【命名の由来】

私たちは晴好の中、多くの英俊と讃頌し合い、学びをともにしたことに喜びを感じる。

私たちはこれからも天地の鳴動に臆することなく、道を究めんと光輝燦然たる互いを太山の遥かより望み、我らが薫香を次世代に継ぎ伝えることを誓う。

創立133年の母校を巣立つ我らの、燦然と輝く未来を讃え、ここに「讃燦会」と命名する。

(発案者 星 乃彩、東海林 咲耶、尾形 洋慈、高橋 佑輔、太田 彩子、後藤 晴輝)



讃燦会のクラス代表です

敬

弔

同窓会報69号掲載以降～平成30年3月31日
までに判明した方々です。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成25年

7月20日 梅瀬 順一氏 (山中57回)

平成27年

4月5日 芦野 治氏 (山東22回)
9月1日 相沢 (大寿) 幸子氏 (山東3回西)

平成28年

3月12日 奥山 廣氏 (山東2回)
4月29日 尾形 治之氏 (山東3回)
4月30日 石井 政助氏 (山東17回)
6月12日 阿部 克人氏 (山東11回)

平成29年

1月5日 中村 幸雄氏 (山東2回)
1月5日 沓沢 尚智氏 (山東12回)
1月9日 大沼 (山田) しゑ氏 (山東2回西)
1月8日 小倉 明雄氏 (山東6回)
1月11日 神保 (大野) 暢氏 (山東4回)
1月18日 菊地 尹氏 (一高2回)
1月21日 飯沢 (大相) 靖子氏 (山東12回)
1月28日 遠藤 一也氏 (山中57回)
1月30日 津田 好美氏 (山東17回)
2月6日 川合喜四郎氏 (山中58回)
2月14日 赤塚 (遠藤) 種男氏 (山中52回)
2月17日 会田 賢三氏 (山中58回)
2月19日 樋口 慶一氏 (山中56回)
2月24日 伊藤 直美氏 (山東13回)
3月2日 伊藤 弘氏 (山東3回)

3月11日 長谷部友成氏 (山中61回)
3月17日 中村義太郎氏 (山東3回)
3月26日 小林 英男氏 (山中54回)
4月8日 大澤 洋昭氏 (山東10回・旧職員)
4月12日 渡里杉一郎氏 (山中55回)
4月13日 國分 三昭氏 (元学校長)
4月18日 安彦 勉氏 (山東16回)
4月20日 鹿間 昭彦氏 (山東7回)
4月24日 熊木 成夫氏 (旧職員)
4月27日 渡部 忠雄氏 (山中57回)
4月28日 菅井 利昇氏 (山東18回)
5月2日 馳尾 昭司氏 (旧職員)
5月8日 中村 (奥山) 美智子氏 (山東7回)
5月14日 樋口 昌義氏 (山東13回)
5月15日 田中 和一氏 (山東10回)
6月12日 新関 恒助氏 (山中55回)
6月16日 本木 七郎氏 (山中46回)
6月16日 青柳 正志氏 (山東1回)
6月17日 向田 肇兌氏 (山東5回)
6月23日 阿部 吉夫氏 (山中52回)
7月3日 深瀬 隆一氏 (山東5回)
7月15日 栗林 昭男氏 (山中55回)
7月15日 東海林周太郎氏 (山東2回)
8月4日 江口 源助氏 (山中59回)
8月3日 青山 尚平氏 (山東11回)
8月6日 蘇武 秀名氏 (山東11回)
8月8日 岡崎 肇氏 (山東9回)
8月15日 齋藤 文明氏 (山東18回)
8月18日 佐島 和人氏 (山東9回)
9月9日 久保田正博氏 (山東11回)
9月10日 今野 善倫氏 (山東13回)
9月30日 遠藤 吉男氏 (山東12回)
10月12日 大場 英男氏 (山東11回)
10月14日 大瀧 泰郎氏 (山東3回)
10月15日 岡崎 七郎氏 (山中57回)

10月18日 浅石 一雄氏 (山中55回・旧職員)
10月26日 古瀬 良雄氏 (一高2回)
10月28日 松原 貞好氏 (山中56回)
11月5日 佐藤吉兵衛氏 (山東5回)
11月8日 遠山 啓氏 (山東8回)
11月8日 水口 雅夫氏 (山東11回)
11月9日 中村 隆氏 (山東8回)
11月13日 横山 幸生氏 (山東2回)
12月1日 鈴木 糸子氏 (山東8回)
12月6日 高橋 知之氏 (山中58回)
12月9日 相田 亮順氏 (山東1回)
12月10日 井上 博氏 (山東1回)
12月14日 八鍬 和夫氏 (山中62回)
12月14日 庄司 英貴氏 (山東11回・大石田支部長)
12月14日 寺崎 聡一氏 (山東31回)

平成30年

1月2日 鈴木 寛氏 (山東7回・元同窓会会長)
1月19日 庄司 功氏 (山中54回)
1月21日 柏倉 清助氏 (山中57回)
1月31日 榎森伊兵衛氏 (山東3回)
1月25日 大井喜一郎氏 (山中54回)
2月1日 吉野 敬二氏 (山中49回)
2月3日 原田 晴之氏 (山東5回)
2月11日 高橋菜穂子氏 (山東46回)
2月13日 江川 洋佑氏 (山東10回)
2月15日 永田 亀良氏 (山中57回)
2月19日 大沼 貞雄氏 (山中56回)
3月4日 佐藤 (多田) 京子氏 (山東2回西)
3月9日 東海林秀幸氏 (山東12回)
3月22日 岸 陽一氏 (山中51回)
3月26日 遠藤 英則氏 (山東7回)

会報第69号でご報告した石井政助氏 (山東17回) のご逝去日に誤りがありました。上掲のとおり訂正し、お詫び申し上げます。



鈴木 寛氏 (山東7回・元同窓会会長)

母校の職員として、保健体育教諭、野球部監督等で御活躍されました。山形中央高校校長御退職後は、山東同窓会の副会長を経て平成19年～23年まで会長に在任。同窓会発展に御尽力されました。



國分 三昭氏 (元学校長)

石井前校長の御逝去を受けて昭和60年12月より第31代校長に就任。国公立前・後期試験の開始等入試制度が変わる中で、母校および山形県の高校教育改革に御尽力され、多大なる貢献を残されました。

山東奨学会

(平成28年度末～平成29年度末まで)

平成28年度

2月15日 第8回理事会
平成28年度補正予算承認
平成29年度事業計画
平成29年度予算承認
3月21日 奨学生審査会
3月30日 奨学金贈呈式
2名に贈呈

平成29年度

5月12日 第9回理事会
平成28年度事業報告承認
平成28年度決算報告承認
理事候補者の選任
評議委員会の開催期日等決定
6月13日 第4回評議員会
平成28年度事業報告承認
平成28年度決算報告承認
理事の選定
6月26日 第10回理事会
常務理事の選定
2月16日 第11回理事会
平成29年度補正予算承認

平成30年度事業計画
平成30年度予算承認

3月19日 奨学生審査会
3月30日 奨学金贈呈式
3名に贈呈

慶 祝

(同窓会報69号掲載以降～平成30年3月3日まで)

平成28年

11月29日 教育者文部科学大臣表彰
菅間 裕晃氏 (元山形東高校長)

平成29年

4月29日 旭日双光章
野々村政昭氏 (山東11回)
旭日小綬章
細谷 伸夫氏 (山東13回)
旭日小綬章
升川 修氏 (山東14回)
瑞宝双光章
斎藤 幹郎氏 (山東11回)
瑞宝双光章
佐藤 俊忠氏 (山東14回)

篤志寄付

(同窓会報69号掲載以降～平成30年3月3日まで)

平成29年

5月29日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所東高会
6月12日 日下 常由氏 (山東1回) 作
絵画3点
「朔北の陽 (銅路湿原)」
「エジプトルクソール西岸＝
グルナ村 王家の谷への道」
「千歳山残照」日下家ご遺族
11月14日 探究活動支援費 10万円
東根市役所山東会

平成30年

2月16日 教育後援会へ寄付 100万円
山形東高同窓会
2月19日 教育奨励費 20万円
山形県庁東高会
(部活動費10万円、図書購入費
5万円、奨学会基金5万円)
3月3日 山東奨学会への寄贈 10万円
東京同窓会懇親会における有志寄付
山形中学・山形東高東京同窓会

平成29・30年度職員動向 母校に係る平成29年度、平成30年度の人事異動をご報告いたします。

＜転出者＞(敬称略)			
平成29年度			
菅間 裕見 (校 長・2年)	ご退職		
半田 善行 (事務部長・2年)	置賜教育事務所へ		
阿部 好弘 (地 歴・21年)	教育庁生涯学習推進室へ		
佐藤 隆志 (数 学・6年)	北村山高校へ		
齋藤実希子 (理 科・8年)	寒河江工業高校へ		
高橋 明 (英 語・6年)	谷地高校へ		
山口 礼 (国 語・1年)	鶴岡北高校へ (新規採用)		
三澤 明美 (主 査・5年)	衛生研究所へ		
蛇子 一 (技 能 員・5年)	ご退職		
平成30年度			
田村 光絵 (教 頭・2年)	教育庁スポーツ保健課へ		
熊木 恒一 (英 語・18年)	ご退職		
長澤 義博 (数 学・12年)	ご退職 (本校再任用)		
鍋島 洋美 (数 学・11年)	谷地高校へ		
佐々木聖司 (国 語・8年)	霞城学園高校定時制へ		
幸田 禎子 (国 語・11年)	上山明新館高校へ		

高橋 俊彦 (地 歴・5年)	教育庁高校教育課へ		
井家 勝己 (英 語・6年)	教育庁高校教育課へ		
渡邊 研一 (情 報・3年)	山形南高校へ		
長沼 典子 (理 科・2年)	荒砥高校 (新規採用)		
堀川 一樹 (数 学・2年)	酒田光陵高校 (新規採用)		
松田 早季 (国 語・1年)	長井工業高等学校		
三浦 玄太 (理 科・1年)	ご退職		
菊池 義人 (体 育・1年)	ご退職		

松田 早季 (国 語)	南陽高校より		
三浦 玄太 (理 科)	新任		
菊池 義人 (体 育)	新任		
桃井 ふみ (主 査)	村山総合支庁課税課より		
菊地 英男 (技 能 員)	村山総合支庁保健所より		
平成30年度			
丹野 学 (教 頭)	東桜学園高校より		
相澤 史恵 (国 語)	寒河江高校より		
田中 正浩 (国 語)	教育庁より		
三関 直人 (数 学)	山形中央高校より		
中村 辰彦 (英 語)	南陽高校より		
工藤 淳 (英 語)	山形北高校より		
仲野 香葉 (英 語)	谷地高校より		
佐藤 勝治 (情 報)	米沢東高校より		
鈴木 孝志 (地 歴)	鶴岡北高校より		
吉田 真希 (数 学)			
大竹 康義 (理 科)	山形西高校より		
佐藤 多恵 (化 学)			

＜転入者＞(敬称略)			
平成29年度			
佐藤 俊一 (校 長)	県教育次長より		
壽賀 齊 (事務部長)	県砂防・災害対策課より		
竹田 直道 (地 歴)	山形工業高校より		
佐藤 鋭一 (数 学)	天童高校より		
笹木 覚 (理 科)	鶴岡南高校より		
朝倉 睦美 (英 語)	寒河江高校より		

平成30年度 同 窓 会 役 員

役 員				
会 長	浜 田 敏	山東17回		
副 会 長	佐 藤 松兵衛	山東19回		
〃	矢 野 秀 弥	山東21回		
〃	鈴 木 宣 均	山東23回		
幹 事 長	桂 嶋 清 彦	山東29回		
副 幹 事 長	高 嶋 毅	山東34回		
〃	永 井 聡	山東35回		
〃	井 上 修	山東36回		
幹 事	高 橋 勝 幸	山東27回		
〃	高 橋 勝 幸	山東30回		
〃	清 野 寿 啓	山東38回		
〃	長谷川 浩一郎	山東39回		
〃	中 村 祥 之	山東41回		
〃	佐 藤 陽 介	山東44回		
〃	伊 藤 美 佳	山東47回		
〃	坂 部 経 洋	山東51回		
〃	丹 野 明 依	山東53回		
監 事	長谷川 栄 美	山東17回		
〃	伊 勢 和 正	山東25回		
事 務 局 長	渡 辺 季 子	山東23回		
顧問				
結 城 章 夫	元山形大学学長	山形大学名誉教授		
遠 藤 来 二	第29代校長			
日 野 顕 正	第33代校長			
木 村 宰	第34代校長			
山 川 博 史	第35代校長			
佐 藤 敏 彦	第36代校長			
伊 藤 和 夫	第37代校長			
勝 見 英一朗	第38代校長			
相 馬 周一郎	第39代校長			
渡 部 泰 山	第40代校長			
柳 谷 豊 彦	第41代校長			
菅 間 裕 晃	第43代校長			
相談役				
森 谷 寛	体育部OB会長	山東17回		
吉 田 眞一郎	文化部OB会長	山東17回		

評 議 員				
山中55回	昭南会	設 楽 隆		
山中57回	御橋会	大 築 勘一郎		
山中58回(4)	銀河会	西 村 久 男		
山中59・60回	太平会	佐 藤 良 助		
山61・一高回	六一会	志 村 宗 孝		
山62・一高回	ふたば会	今 野 成 行		
山東1回	東一会	木 村 雅 一		
山東2回	東友会	登 坂 光 雄		
山東3回	東三会	伊 藤 貞 夫		
山東4回	東四会	大 江 健		
山東5回	古稀会	大 小 喜久雄		
山東6回	六翠会	小 松 公 博		
山東7回	一行会	真 田 宗 厚		
山東8回	東八会	深 瀬 智		
山東9回	東鳩会	伊 藤 光一郎		
山東10回	東濤会	逸 見 誠 司		
山東11回	東士会	斎 藤 啓 一		
山東12回	東睦会	井 上 伸 彦		
山東13回	三山会	秋 葉 正 彦		
山東14回	龍雲会	大 場 敏 男		
山東15回	笑龍会	宇治川 幸 雄		
山東16回	竹馬会	多 田 夫 仁		
山東17回	六七会	秋 保 俊 夫		
山東18回	東哉会	伊 藤 則 義		
山東19回	鵬雲会	滝 口 義 毅		
山東20回	翠鸞会	千 歳 誠 一		
山東21回	四六会	後 藤 裕 信		
山東22回	主一会	大 築 裕 蔵		
山東23回	志也会	佐 藤 穰 篤		
山東24回	東翼会	高 橋 祐 篤		
山東25回	九重会	斎 藤 祐 三郎		
山東26回	五一会	野 口 祐 哉		
山東27回	東紋会	小 関 一 宏		
山東28回	天馬会	伊 藤 三 之		
山東29回	共一会	江 袋 敬 之		
山東30回	東翔会	浅 黄 克 也		
山東31回	五六会	児 玉		

山東32回	槌音会	鍾 水 功 泰		
山東33回	繼世会	村 形 弘 也		
山東34回	双鸞会	小 林 直 樹		
山東35回	百東会	荒 赤 秀 一		
山東36回	慧號会	井 木 芳 賀		
山東37回	鴻紀会	青 赤 秀 之		
山東38回	東龍会	小 嶋 寛 之		
山東39回	魁成会	鈴 木 清 晃		
山東40回	東駿会	高 橋 祐 史		
山東41回	翔洋会	吉 村 和 武		
山東42回	志成会	米 本 誉 泰		
山東43回	東鵬会	今 野 義 悦		
山東44回	東阜会	進 藤 義 樹		
山東45回	百珠会	黒 沼 芳 芳		
山東46回	東玲会	高 阿 部 洋 和		
山東47回	東凌会	佐々木 一 宜		
山東48回	天成会	峯 田 史 史		
山東49回	東珀会	丹 野 一 め		
山東50回	雙紀会	佐 竹 秀 文		
山東51回	東暎会	吉 田 昌 平		
山東52回	東愛会	鈴 木 貴 博		
山東53回	東魂会	佐々木 健 晴		
山東54回	東粹会	山 川 晃 広		
山東55回	東節会	武 田 弘 峻		
山東56回	瑞雪会	中 塚 大 地		
山東57回	和成会	伊 藤 大 伸		
山東58回	重友会	阿 部 龍 海		
山東59回	結昇会	武 部 裕 也		
山東60回	六黎会	高 橋 佑 和		
山東61回	勢翔会	伊 藤 永 希		
山東62回	栄繼会	桂 木 悠 希		
山東63回	六三志会	松 城 龍 馬		
山東64回	天晶会	結 大 沼 類		
山東65回	勲東会	菊 池 柊 大		
山東66回	東緑会	池 上 航		
山東67回	東標会			
山東68回	讃燦会			

地域・職域同窓会

同窓会名	会長・支部長	事 務 局		
山中山東東京同窓会	金 井 浩一郎	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3	山形県東京事務所内	常 盤 潤一郎 ☎03-5212-9026
山形東高仙台同窓会	大 山 正 征	〒980-8550 仙台市青葉区本町1-7-1 東北電力(株)内	総務部総務G課長 市川秀徳	田 苗 博 ☎022-799-1069
関西山中山東同窓会	菱 川 道 生	〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800	山形県大阪事務所内	小 林 正 啓 ☎06-6341-6816
山中山東東海同窓会	海 野 紘 治	〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町2-9-3		酒 井 康 義 ☎052-761-6320
栃 木 県 支 部	塩 野 操	〒321-0141 宇都宮市さつき1-9-17		武 田 康 夫 ☎028-653-9574
山形県庁東高会	大 澤 賢 史	〒990-8570 山形市松波2-8-1	山形県県土整備部空港港湾課	白 田 恭 平 ☎023-630-2628
山形市役所東高会	阿 部 謙 一	〒990-0047 山形市旅籠町2-3-25	山形市役所国民健康保険課	多 田 進 一 ☎023-641-1212
山形市歯科医師会山東会	西 村 修 夫	〒990-2313 山形市松原142-4		佐々木 英 夫 ☎023-688-7343
酒 田 山 東 会	高 橋 秀 夫	〒998-0828 酒田市あきほ町659-6		岡 田 恒 弘 ☎0234-26-7771
田 川 支 部				
最 上 支 部	永 井 俊 一	〒999-6101 最上郡最上町大字向町618-2		森 川 康 夫 ☎0233-43-2255
尾 花 沢 支 部	富士盛 良 一	〒999-4225 尾花沢市若葉町3-16-20		星 川 薫 ☎0237-24-1428
大 石 田 支 部		〒999-4116 北村山郡大石田町駅前通り2-25		大 類 康 裕 ☎0237-35-2143
村 山 支 部	服 部 智 彦	〒995-0034 村山市榎岡五日町7-21		吉 田 藤兵衛 ☎0237-55-2202
東 根 支 部	武 田 信 一	〒999-3775 東根市大字野田字シタ2038	クリーンピア共立	浅野田 勇 ☎0237-47-1321
天 童 支 部	相 澤 一 彦	〒994-0012 天童市久野本2-6-14		松 村 澄 男 ☎023-654-6798
河 北 山 東 会	鈴 木 明 朗	〒999-3511 西村山郡河北町谷地戊81	河北町役場政策推進課	古 澤 広 喜 ☎0237-73-2111
寒 河 江 支 部	大久保 晴 二	〒991-0031 寒河江市本町2-6-46	石川歯科医院内	石 川 隆 明 ☎0237-84-3139
朝 日 支 部	佐 藤 正 道	〒990-1302 西村山郡朝日町玉ノ井114		阿 部 憲 明 ☎023-682-2526
山 辺 支 部	伊 東 信 信	〒990-0301 東村山郡山辺町山辺998		宗 田 一 彦 ☎023-664-5854
上山山形東高同窓会	中 村 直 資	〒999-3171 上山市狸森1513		江 口 敏 昭 ☎023-675-2120
山形東高同窓会米沢支部	小 関 清 夫	〒992-0038 米沢市城南4-2-20		峯 田 貴 ☎0238-33-0492

「山形東高等学校」の校名について

終戦2年後の昭和22年、学制改革が始まって新制中学が発足した。旧制中学は翌昭和23年から新制高校になることになった。当時山形中学2年生だった私は、山形中学校は翌年から「山形高等学校」になると思った。全校生に新校章の図案を募集したら、「高」や、旧制山高の校章を意識したものが少なからずあった。

しかし本県の新制高校はナンバー制がとられ、本校は「山形第一」となった。わが校にも番号がついたか、と思った。

新制高校発足の翌昭和24年、占領軍山形軍政部から、高校の小学区制と男女共学、そして高校の統合が指示され、翌昭和25年度から直ちに実施された。

これは東北地方の他県の軍政部より厳しい「民主化」指示であった。学制改革の具体策はGHQの全国統一のものでなく、各都道府県の軍政部により温度差があったのである。全体に東日本はゆるく、西日本は厳しかった。湯川秀樹博士をはじめ学者偉人を輩出した京都府立一中はすっかり面影を異にしたし、和歌山県では前年に旧制中学に入学した私と同年の人たちは、元の村の新制中学に戻られ、帰郷者と呼ばれたという。

本校九十年史編纂の時の「校史編纂資料」に、大正10年卒の渡辺克己氏が、統合後の新校名を審議した思い出を寄せている。昭和24年、本校が第五高との統合を指示された時、二高（四高と統合することになった）がいちはやく新校名を南高と決めた。本校は学校と同窓会で協議したが決まらず、2回目の拡大の協議会を持った。北、東雲（しのめ）、千年（ちとせ）、朝日、等々の案が出て難航、北を敬遠して「東高」とようやく決まったのは、夕方薄暗くなってからだったという。私が教室で先生からこの話を聞いたのはその翌日だと思う。昭和25年山形東高等学校はスタートした。

なおこの渡辺克己氏は東北電力の要職にあった人で、長く本校同窓会役員をつとめた。山中生徒時代は庭球部で活躍し、OBとして昭和7年の庭球部全国優勝を支えた。渡辺青柳杯テニス大会の渡辺とは氏のことである。

この統合高校は早くも昭和26年分離が決定され、そ

の翌昭和27年度から実施された。講和条約で日本は独立、占領行政のくびきから脱したのである。この分離で再び校名の問題が生じた。東高、南高ともに東校舎がそのままの校名で、西校舎が山形北高、山形西高を名乗り独立する形になった。

この山形北高、つまりそれまでの山形東高西校舎は、現在のNHK山形放送局の真向い、木の実町にあったのである。東高よりだいぶ南になる。しかし校名問題は表面化しなかった。同校は昭和36年に現在地、旧山形県師範学校、山形大学教育学部跡に移転したが、それでも本校より南である。

高校の校名に方角を採用している道県は多いが、道県の旧制中学の基幹校だった高校は方角名をつけない県が多い。つけているのは6道県だけ。そのうち「東」をつけたのは本校と松山東高だけである。北をつけたのは松江北高だ。

本県軍政部指導下の学制改革で「山形高校」は無理だった。本校は「一高」を経て、統合の際に「東高」を選び、分離に際しても「東高」を維持した。

「東」は四方位の先頭である。字義もいい。ただ、略称のヤマトウと、校歌2番の「山形トウコウ」という部分には、筆者はいまだになじめない。

中学時代の本校の校名で一番長く続いたのは、創立17年目の1900年から戦後学制改革までの「山形県立山形中学校」で、48年間だったが、「山形東高等学校」の校名はすでに68年続いている。創立来133年の歴史の半分を超えたのである。

（昭和27年卒 元校長 日野 顕正 記）



左から山中の帽章、一高（昭和23年制定）、東高（昭和25年制定）の徽章
いずれも筆者が使用したもの

編集後記

第70号になります同窓会報が出来上がりましたので、お届けします。これまでは4月1日に発行していたために、職員の異動や生徒の進路状況が前々年度の記事になっていましたが、発行日が4月20日になりましたので、今号からは前年度末までの情報を掲載できるようになりました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。寄稿・原稿執筆等、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

森 美千子（東龍会）・杉原 貴裕（東鵬会）



「朔北の陽（釧路湿原）」日下常由氏作